

項目番号	項目名	項目内容等
1	開講年度	2010
2	開講学期	前学期
3	開講学部等	共通教育
4	時間割番号	
5	科目名[英文名]	コミュニケーション英語B [Communication English B]
6	単位数	1
7	担当教員[ローマ字表記]	
8	授業科目区分	
9	対象学生・対象年次	
10	授業題目	コミュニケーション英語B
11	授業のキーワード	コミュニケーション(communication), リスニング(listening), スキル(skill), 知識(knowledge)
12	授業の目的	英語を使って情報を入力し、効果的にコミュニケーションを図る能力を身につけることを目的とする。特に、この授業では、英語の音声的な特徴を理解して、特定の目的に応じた聞き取りができることを目指す。
13	授業の到達目標	1. 英語と日本語の音声的な違い(発音、リズム、イントネーション)を理解することができる。 2. 英語の指示、会話、ナレーション等を効果的に聞き取ることができる。 3. 英語で話される内容(語句のアクセントや発音を含む)をそれぞれ聞くだけでなく、自分の持っている知識を活用して内容の大意をつかみながら英語を聞くことができる。 4. リスニング能力の向上に必要な語彙知識を増やす。
14	共通教育の理念・教育方針に関わる項目	2, 3
15	授業概要	リスニング能力およびスキルを身につけることに焦点を当てるが、4技能を結びつけて総合的に英語力を向上させる授業を行う。
16	授業スケジュール	1回目 ガイダンス(授業の目標、進め方、予習・復習などの説明) 2回目 Starter: The sounds of English. 3回目 Unit 1: Work, relax, and play! 4回目 Unit 2: My schedule for Friday. 5回目 Unit 3: How's the weather there? 6回目 Unit 4: Looking for an apartment? 7回目 Unit 5: How do I use this camera? 8回目 Challenge & Review 1 9回目 Unit 6: A great price, today only! 10回目 Unit 7: Could you hold the line? 11回目 Unit 8: We should have a party! 12回目 Unit 9: Your attention please! 13回目 Unit 10: Can you fill out this form? 14回目 Challenge & Review 2 15回目 期末テスト 注1) 学期期間中(6月3日(木)5時限/夜間主は7時限)に、英語統一試験としてTOEIC Bridgeを実施します。 この試験は、成績評価の20%を占めます。必ず、受験するようにしてください。 注2) 学期中、必要性や理解度に応じて、シラバスに書かれた内容を変更する場合があります。 この場合、授業の中で適宜指示します。
17	授業時間外学習にかかわる情報	授業前に学習するユニットの予習を行うこと。授業後に学習したユニットの復習を行うこと。 また、TOEIC-Bridge対策として、e-learning(アルクネットアカデミー2):初中級コースプラスを各自行っておくこと。なお、学外からもアクセスできるが、学内では愛大ミュージム2Fにある語学自習室にて利用することができる。
18	成績評価方法	授業参加:20%、小テスト(課題を含む):30%、期末テスト:30%、TOEIC Bridge:20%
19	受講条件(任意)	(再履修クラスへの条件) 平成19-21年度入学で、「コミュニケーション英語B」未修得の学生。 注)Web履修登録後、人数調整のため登録クラスが変更される場合があります。4/7(水)に掲示板にてクラス分けを発表しますので、掲示を確認してから授業に出席して下さい。(※夜間主はクラス分け確認必要なし)
20	受講のルール(任意)	1. 授業の参加姿勢も、評価の対象になります。授業活動に積極的に参加することで、授業外での学習成果を実感できます。予習と復習は授業の内容を理解し、学習効果を上げるために必要です。授業中の指示に従い、しっかり予習・復習をして、積極的に授業に参加するようにしてください。 2. 授業を休んだ場合は、次の授業までに、休んだ回の授業内容をクラスメートに確認し、予習・復習、課題など必要な情報を自分で入手してください。 3. 4回以上欠席した場合は、成績の評価は行いません。単位を取得できなくなりますので、十分注意してください。 4. 遅刻をすると、授業活動への参加が遅れます。授業が始まる前に入室してください。3回遅刻すると、欠席1回分と見なされますから注意してください。30分以上遅れた場合は、欠席と同じ扱いになります。 5. 授業活動は原則として、英語で行われます。積極的に英語を使うようにしてください。 6. 授業中は、携帯電話を切り、私語を慎むようにしてください。
21	教科書	Real-World Listening: Listening in Social Contexts(センゲージ・ラーニング、ISBN:978-4-86312-167-6、2010)を使用します。初回の授業までに、必ず購入しておいてください。
22	参考書	-
23	教科書・参考書に関する補足情報	(再履修生へ) テキストの2010年度版は、2009年度版から大きな改訂をしています。このために、2009年度版は授業で使えませんので、受講者は全員2010年度版を用意してください。
24	オフィシアワー	http://web.eec.ehime-u.ac.jp/officehour.html
25	連絡先	http://web.eec.ehime-u.ac.jp/officehour.html
26	参照ホームページ(任意)	http://web.eec.ehime-u.ac.jp/
27	その他(任意)	外部試験による成績判定制度を利用することが出来ます。 申請資格がある希望者は、4/1(木)~4/7(水)の期間中に英語教育センター事務室で手続きを行ってください。